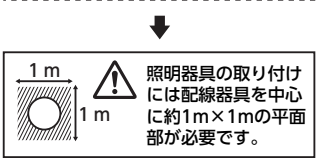
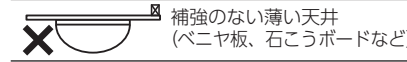


## 取り付けできない天井・配線器具 ※照明の形状はイメージです。

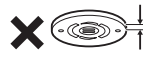
### 次のような場所には取り付けない

本照明器具は天井取り付け専用です。指定以外の場所に取り付けると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。



### 次のような配線器具には取り付けない

火災や感電・落下によるけがの原因となります。配線器具の交換は、販売店・工事店に依頼してください。(配線器具の交換は資格が必要です)



## お手入れについて

照明器具が汚れていると暗くなります。

明るく安全に使用していただくため、定期的に清掃することをおすすめします。



- 必ず壁スイッチをOFF(切)にするか、電源を遮断してください。感電の原因となります。
- 消灯直後は照明器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから清掃をしてください。
- 絶対に、水をかけたり、水につけて洗ったりしないでください。火災・感電・故障の原因になります。

次のものは使用しない



1. 水で薄めた中性洗剤に、柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取る

2. 汚れが落ちたことを確認後、洗剤分を拭き取る

水に浸して固く絞った布で完全に拭き取ってください。

3. 仕上げに乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取る

●リモコンの送信部は、乾いた柔らかい布で定期的に汚れを拭き取ってください。汚れるとリモコンでの操作がしにくくなります。



## 故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状態	考えられる理由	処置
リモコンで照明器具が操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
	照明器具とリモコンのチャンネルが合っていない。	「チャンネル切り替えについて」を参照し、チャンネルを合わせてください。
照明器具が点灯しない	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
壁スイッチをONにしても点灯しない	照明器具が「消灯」状態になっている。	「明かりをつける」を参照し、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで切り替えてください。
操作していないのに明かりがついたり、変わったりする	短い停電などにより、「壁スイッチで点灯状態を切り替える」機能が働き、点灯状態が切り替わることがあります。	ご使用にならない時は、壁スイッチをOFFにしてください。
		「明かりをつける」を参照し、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで切り替えてください。
明かりが繰り返し変化する	工場出荷時の試験点灯モードになっている。	「点灯・全灯ボタン」+「おやすみボタン」+「節電ボタン」の3つのボタンを同時に5秒長押しして、試験点灯モードを解除してください。
調色すると暗く感じる	光の色合いによって、最大の明るさは異なります。全灯時を100%とすると、電球色、昼光色へ最も調色した時は最大値が約60%の明るさとなりますが故障ではありません。	

それでも解決できないときは、お買い上げの販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

## 仕様

品番	消費電力	器具光束	定格電源電圧	定格電源周波数	待機電力	サイズ	質量
CLP-6DL	29.4W	3300lm(最大点灯時)	AC100V	50Hz/60Hz	0.5W	φ460 × H49 mm	約2.2kg
CLP-8DL	36.7W	4000lm(最大点灯時)					

※光束維持時間は40,000時間です。光束維持時間とは、全光束が70%に低下するまでの時間を推定したものです。表示は設計時間であり、製品の寿命を保証するものではありません。  
※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

## アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号  
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ(通話料無料)

修理に関するお問い合わせ(通話料無料)

**アイリスコール 0120-311-564**

**修理専用コール 0800-170-7070**

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く) 9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

## お客様サポート

24時間365日  
Web即時回答サービス



ECOHiLUX  
エコハイルクス

LEDシーリングライト  
CLP-6DL/CLP-8DL

## 共通取扱説明書

### 保管用

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ販売店からお受け取りください。

必ず2人で取り付けてください。

### 安全上の注意

安全に使用いただくために下記の事項を必ずお守りください。

図記号の意味

注意を促す記号です。

禁止を示す記号です。

必ず行うことを示す記号です。

	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
	改造や、部品交換をしない 落下・感電・火災などの原因になります。
	調光器を使用しない 破損や発煙の原因になります。
	可燃物で覆わない 可燃物を被せたり、近づけたりしない 火災の原因になります。
	取り付けできない天井・配線器具に取り付けけない 「取り付けできない天井・配線器具」に記載された場所や配線器具には取り付けないでください。落下・感電・火災などの原因になります。
	取り付けは確実に行う 落下・破損・けがの原因になりますので、本書にしたがい確実に取り付けてください。
	異常を感じたら速やかに電源を切る すぐに電源を切り、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。
	交流100Vで使用する 火災・感電のおそれがありますので、定格電圧以外では使用しないでください。
	清掃・取り付け・取り外しの際は必ず電源を切る 感電の原因になります。

	誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害の発生が想定される内容を示しています。
	LED光源を直視しない 目を傷める原因になることがあります。
	点灯中・消灯直後は、照明器具に触れない やけどの原因になることがあります。
	破損した場合は使用しない 落下してけがの原因になります。 破損した場合は修理を依頼してください。
	温度の高い場所で使用しない 火災の原因になります。
	屋外や湿気の多い場所で使用しない 故障や感電の原因になります。
	水洗いしない 火災・感電の原因になります。 「お手入れについて」を参照し、水につけたり、水をかけたりしないで清掃してください。
	薬品を使用しない 変形・火災の原因になります。 殺虫剤、かび取り剤などをかけないでください。
	1年に1回は自主点検を実施する 長期間の使用による発煙・発火・感電などの事故を防ぐため、保証書の「安全チェックシート」を参照し、定期点検を実施してください。 設置後8～10年経つと、自然に内部劣化が進みます。 ※参考使用条件: 周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合。 (JIS C8105-1解説による)

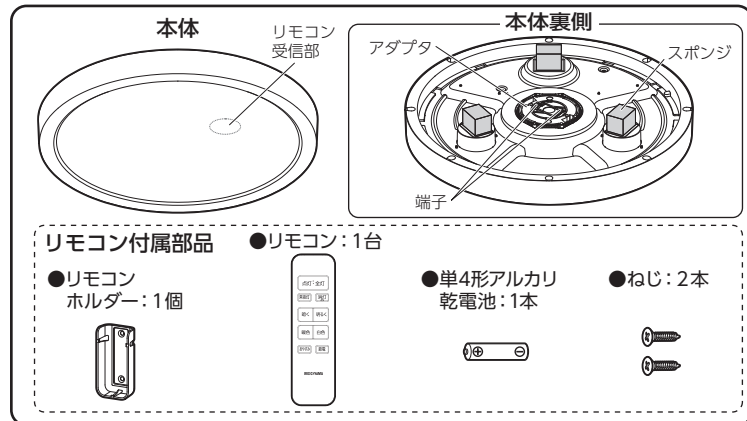
## ご使用についてのお知らせ

- 1個の壁スイッチで2台以上の照明器具を操作しないでください。同時に切り替わらない場合があります。
- 付属のリモコンはアイリスオーヤマ製照明器具専用です。他のリモコンを使用する機器(テレビなど)には使用できません。
- 本照明器具の近くで他の赤外線リモコン方式の機器やワイヤレス機器を使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 点灯直後や明るさを切り替えた直後などに、リモコン信号を受信しにくくなる場合があります。その際は少し時間を置いて、再度リモコンを操作してください。
- 3Dテレビを視聴しているときは、本照明器具のリモコンが反応しにくくなる場合があります。
- 天井や壁、床の材質によっては、リモコンが反応しにくくなる場合があります。
- ラジオ、ワイヤレス方式の機器はなるべく照明器具から離して使用してください。雑音が入る場合があります。
- LED光源にはばらつきがあるため、同じ型式・形状の商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。

- 照射距離が近い場合、照射面で光むらがあることがあります。
- 本照明器具は、LED光源が内部に組み込まれているため、LED光源の交換はできません。
- 停電復旧時や、予期せぬごく短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
- 充電電池をリモコンに使用しないでください。操作できないことがあります。
- エアコン吹き出し口近くへの設置など、温度が高くなる機器の近くに設置しないでください。また、真下にストーブやコンロなどの発熱機器、温度が高くなる機器を設置しないでください。故障の原因になります。
- 防犯カメラやビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターや録画画像に縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 本照明器具はリモコンで消灯しても、約0.5Wの電力を消費しています。長期間使用しない場合は、壁スイッチを切ってください。
- 調色によっては全光束、消費電力、固有エネルギー消費効率が変化する場合があります。

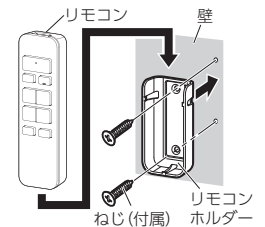
## 各部の名称

- 組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることを確かめください。
- 表記以外の部材は梱包材です。



## リモコン収納のしかた

リモコンホルダーを壁に取り付け、壁掛け収納ができます。  
※収納した状態では操作しないでください。



## リモコンの乾電池の入れかた

- 1 カバーを押し込んで、カバーをスライドして取り外します。
- 2 表示に合わせて⊕ ⊖を間違えないように乾電池を入れ、カバーをスライドして閉める

- 電池の寿命は新品のアルカリ乾電池を使用した場合、約1年です。付属の電池は動作確認用なので、上記より早く消耗する場合があります。
- 電池を交換するときは、新品の単4形アルカリ乾電池に交換してください。
- 長時間使用しない場合は電池を取り出して保管してください。



## 取り付け



●取り付けは、必ず電源を遮断してから行ってください。



●取り付けは、必ず2人以上で行ってください。  
商品落下など思わぬけがや物損の原因になります。  
●高所での作業になります。  
必ず足元の安全を確保してから行ってください。

### 1. 天井についている配線器具(引掛シーリング・ローゼット)の寸法と形状を確認する

※下図以外の配線器具、または配線器具が無い配線だけのものは取り付けができません。電気店、または工事に依頼してください。  
※資格のない方の工事は法律で禁止されています。

天井からの出し	20mm以上24mm未満				10mm以上14mm未満
形状	角型引掛シーリング	丸型引掛シーリング	フル引掛ローゼット	丸型フル引掛シーリング	埋込引掛ローゼット

<側面図>

天井  
配線器具  
出し

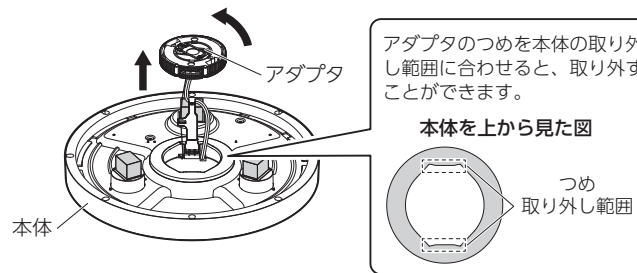
※ローゼットの耳部にねじが付いている場合は、ねじを外してから照明器具を取り付けてください。

取り付けかた動画はこちら→  
本書と合わせてご覧ください。



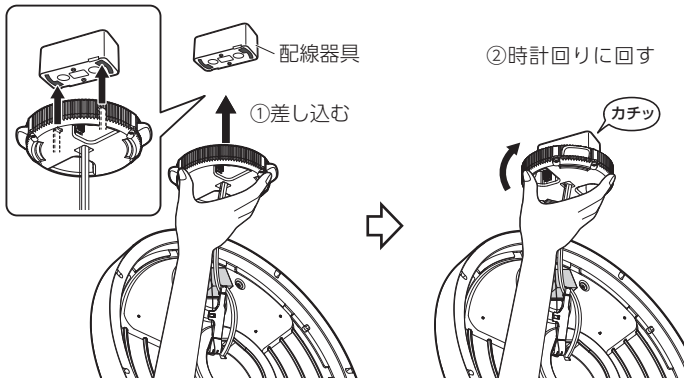
### 2. 本体からアダプタを取り外す

アダプタを回転させて取り外してください。  
※コードは本体と一体になっています。  
取り外せないで、無理に引っ張ったりしないでください。



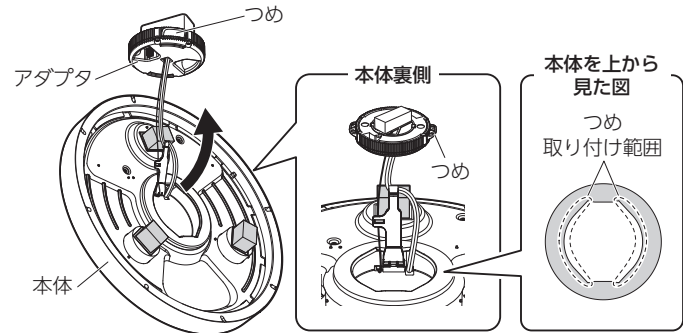
### 3. アダプタを取り付ける

①配線器具の(端子)差し込み穴の位置を確認し、端子を差し込み穴に合わせて、そのまま持ち上げて端子を差し込んでください。  
②アダプタを時計回りに回します。  
アダプタを天井側に押しつけながら「カチッ」と音がするまで回してください。



### 4. 本体を取り付ける

本体の取付部とアダプタのつめ位置を合わせ、本体を上押し込んでください。

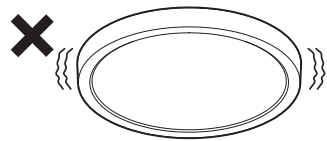


●本体は確実にアダプタつめを合わせ、取り付けてください。  
落下によるけがのおそれがあります。



●取り付け後、必要以上に回転させないでください。  
思わぬ本体外れや破損が起こるおそれがあります。

照明器具がぐらついたり、傾いたりしている場合は正しく取り付けられていないため、もう一度取り付けなおしてください。



※取り付け後、使用したときに異常が見られた場合は、壁スイッチを切り、もう一度照明器具を外して、取り付けなおしてください。

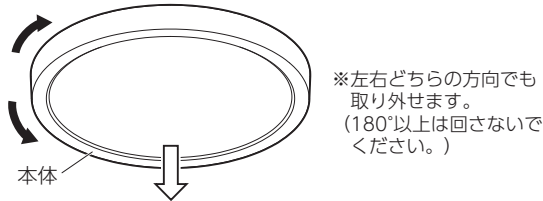
## 取り外し



●取り外しは必ず電源を遮断してから行ってください。  
●消灯直後は照明器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから取り外してください。

### 1. 本体を取り外す

本体を両手で持って回し、取り外してください。

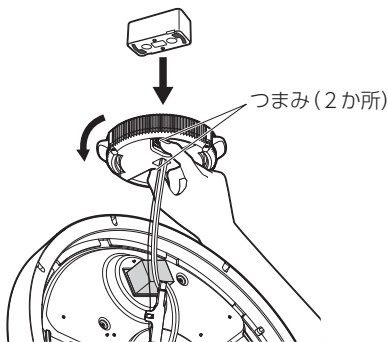


### 2. アダプタを取り外す

つまみ(2か所)を押しながら、反時計回りに回して取り外してください。



●本体を片方の手で支えながら外してください。  
本体の落下によるけがや破損の原因となります。



## 明かりをつける

### 壁スイッチで操作する

#### ■壁スイッチで明かりをつける

壁スイッチ ON：点灯(ラストメモリー)  
最後に調光、調色ボタンで明かりを調節したときの明かりを再現します。



壁スイッチ OFF：消灯  
消灯します。



#### ■壁スイッチで点灯状態を切り替える

壁スイッチをONにした状態で、短く(1秒以内)スイッチを操作することで、点灯状態を切り替えることができます。  
※スイッチの操作が早すぎると、点灯状態が切り替わらない場合があります。



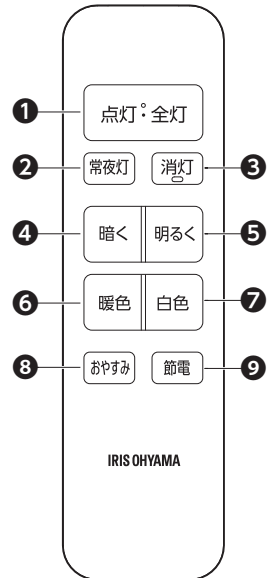
ご注意：壁スイッチをONにしても点灯しない場合は、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで点灯してください。

### リモコンで操作する

#### ①壁スイッチを「ON」にする



#### ②リモコンを本体に向けてボタンを操作する



#### ■明かりをつける

①点灯・全灯ボタン  
消灯状態からラストメモリー点灯します。  
点灯した状態でもう一度押すと全灯になります。  
繰り返し押すとラストメモリー点灯と全灯を繰り返します。  
②常夜灯ボタン  
夜間に適した明かりで点灯します。  
③消灯ボタン  
明かりを消灯します。

#### ■色を変える

シーリングライトの色を調節します。  
(調色11段階)  
調色範囲を超えると「ピピッ」と音がします。  
⑥調色ボタン[暖色(電球色)]  
明かりを1段階ずつ暖色に近づけます。  
長押しで連続調節できます。  
⑦調色ボタン[白色(昼白色)]  
明かりを1段階ずつ白色に近づけます。  
長押しで連続調節できます。

#### ■節電モードを設定する

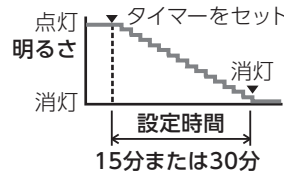
⑨節電ボタン  
節電モードの設定と解除を行います。  
※下記、「節電モードを使う」を参照。

#### ■明るさを変える

シーリングライトの明るさを調節します。  
(調光10段階)  
調光範囲を超えると「ピピッ」と音がします。  
④調光ボタン[暗く]  
明かりを1段階暗くします。  
長押しで連続調節できます。  
⑤調光ボタン[明るく]  
明かりを1段階明るくします。  
長押しで連続調節できます。

#### ■おやすみタイマーで消灯させる

⑧おやすみボタン  
リモコンでおやすみタイマーを設定すると、次第に暗くなり15分または30分後に消灯します。  
1回目：「ピッ」と音が鳴り、15分で設定できます。  
2回目：「ピピピッ」と音が鳴り、30分で設定できます。  
3回目：「ピー」と音が鳴り、タイマーを解除します。  
(点灯状態からのおやすみタイマー動作イメージ)



## 節電モードを使う

リモコンで操作します。設定後、一定の明るさまで30分かけて徐々に暗くなります。(約40%暗くなります。)

節電モード設定：節電ボタンを(3秒以上)長押しする

節電ボタンを長押しする

「ピッ」と音が鳴って照明が1回点滅し、節電モードが設定されます。

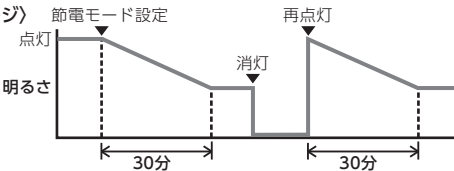
※一度設定すると、解除するまで節電モードが設定された状態になります。再点灯したとき、また徐々に暗くなります。

節電モード解除：節電ボタンを(3秒以上)長押しする

もう一度節電ボタンを長押しする

「ピー」と音が鳴って照明が2回点滅し、節電モードが解除されます。

(節電モードの動作イメージ)



ご注意

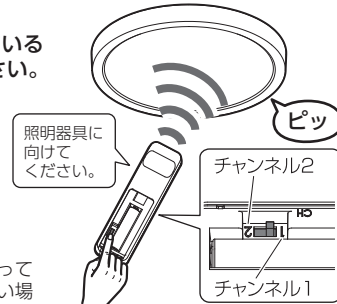
●一定の段階以下の明るさや、常夜灯の点灯状態では節電モードは動作しません。  
●節電モード設定中に明るさを変えたときは、一時的に節電モードは動作せず、その明るさを維持します。その際はリモコンで消灯してから再点灯するか、壁スイッチをOFFにしてから時間をおいて再度ONにすると節電モードが動作し、徐々に暗くなります。  
●壁スイッチで点灯状態を切り替える操作をしても節電モードは解除されず、再点灯したとき、また徐々に暗くなります。  
●明るさが落ちるため、暗いと感じる場合があります。その場合は明るさを変えるか、節電モードを解除してください。

## チャンネル切り替えについて

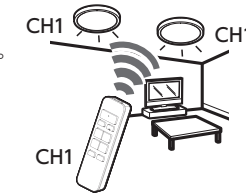
リモコンに電池が入っていること、壁スイッチがあれば、ON(入)になっていることを確認してから、切り替えてください。

①リモコンの裏カバーを外します。  
②リモコンを照明器具に向けながら、内側にあるスライドスイッチを動かしてチャンネルを切り替えてください。  
③リモコンのボタン(切/入など)を押し、操作できることを確認したら、リモコンの裏カバーを戻してください。

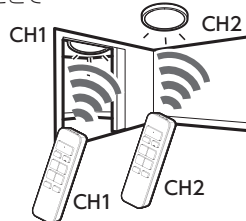
※チャンネル切り替えは電池を入れたまま行ってください。スライドスイッチの操作が難しい場合は、細い物で動かしてください。



●複数の照明器具を1つのリモコンで操作する場合  
隣接する照明器具を同じチャンネルに設定します。  
※照明器具間の距離やリモコン操作時の方向によっては同時に点灯しない場合があります。



●近くの照明器具を別々のリモコンで操作する場合  
隣接する照明器具のチャンネルを別々に設定することでそれぞれ対応するリモコンでのみ操作できます。



ご注意

別の照明器具がリモコンの信号を受けると、チャンネルの設定が変わってしまいます。設定を変更したい照明器具だけが信号を受けられるようにリモコンを向けて設定してください。  
※個別の壁スイッチがあれば片方をOFF(切)にしたり、間に扉があれば扉を閉めたりすると効果的です。